



# 廿日会祭

はつかえさい

## 令和六年 静岡浅間神社



令和6年  
4月  
1日

5日

### 躰曳行(3・5・6日)

- 本社神輿渡御(2日)
- 稚児行列・浅間神輿渡御(3日)
- 躰勢揃い(5日)
- 廿日会祭例祭・稚児舞楽・古式稚児行列(5日)

静岡浅間神社 ホームページ  
駿府躰振興会 ホームページ

お問い合わせ 駿河国総社 静岡浅間神社社務所 / 廿日会祭協賛会・駿府躰振興会  
〒420-0868 静岡県静岡市葵区宮ヶ崎町102番地1 ☎(054)245-1820 代



## お躰 協賛者・事業所名

### 葵区自治会連合会・駿河区自治会連合会

(株)アイエイアイ	(一社)静岡建設業協会	せいさ工材(株)	平井工業(株)
相川鉄工(株)	(公社)静岡県宅地建物取引業協会	静清信用金庫	Fortune.藤田(株)
(株)アイ・テック	(商振)静岡紺屋町名店街	清和海運(株)	(株)福島製材所
あいネットグループ	(株)静岡コピーセンター	(有)関川商会	徳川慶喜公屋敷跡 浮月楼・
アイワグループ	(商振)静岡呉服町名店街	第一建設(株)	ジャズクラブ LIFETIME
(有)葵煎餅本家	静岡市水産物商業協同組合	大日三協(株)	藤田電気(株)
(株)青山工務店	静岡市農業協同組合	(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店	司法書士法人フジワラ
赤帽静岡県軽自動車運送協同組合	静岡商工会議所	大和証券(株) 静岡支店	(株)フタバコーケン
アクサ生命保険(株) 静岡支社	(株)静岡新聞社	大和製罐(株) 清水工場	ホテルグランヒルズ静岡
旭産業(株)	静岡青果物商業協同組合	(株)タカラ・エムシー	(株)古川組 静岡支店
(株)天野回漕店	静岡浅間通り商店街(振)	田中産商(株)	(株)フローラ45 小林岩夫生花店
(有)飯塚印刷	静岡駅ビル パルシェ	(株)田丸屋本店	平和みらい(株)
(株)市川園	(株)静岡第一テレビ	(株)タミヤ	T H E庭や工房 静岡店
市川土木(株)	(株)静岡中央銀行 静岡支店	おべんとうの竹酔	前田工業(株)
(株)伊伝	静岡鉄道(株)	中央静岡ヤクルト販売(株)	(株)松岡カッター製作所
(株)稲葉商店	静岡東海証券(株)	中央精工(株)	松崎化成(株)
(株)宇式通信システム	静岡トヨタ自動車(株)	(株)中央防犯	松林工業薬品(株)
(株)ウディジョー	静岡のぞみ法律特許事務所	中部電力パワーグリッド(株) 静岡支社	丸山販売(株)
駿河屋 (株)エーツー	静岡博報堂	とろろ汁の丁子屋	(株)水上屋
S M B C日興証券(株) 静岡支店	静岡日野自動車(株)	(株)DRマネジメント・第一倉庫(株)	(株)みずほ銀行 静岡法人部
エス・エルワールド(株)	静岡ビル保善(株)	(株)テレビ静岡	みずほ証券(株) 静岡支店
N D S(株) 静岡支店	静岡放送(株)	(株)電通東日本 静岡支社	三井化学エムシー(株)
N T T西日本 静岡支店	税理士法人静岡みらい	(株)東海軒	三井住友建設(株) 静岡支店
(株)エヌ・ビー中根屋	しずおか焼津信用金庫	T O K A Iグループ	三井住友信託銀行 静岡支店
遠藤科学(株)	静岡デザイン専門学校	東海木材(株)	(株)三菱UFJ銀行 静岡支店
(株)大村洋品店	(株)静岡リビング新聞社	東光ガード(株)	宮澤電池産業(株)
(株)岳南木工商会	静銀ティーエム証券(株)	(株)トミヤコーヒー	(株)村上開明堂
河辺商事(株)	静鉄建設(株)	(株)巴川コーポレーション	村田ボーリング技研(株)
木内建設(株)	(株)静鉄ストア	トヨタエルアンドエフ静岡(株)	(株)望月商事
起立木工(株)	静鉄タクシー(株)	トヨタカローラ静岡(株)	矢崎化工(株)
久保田建装(株)	シズデングループ	トヨタユナイテッド静岡(株)	ヤマキ(株)
(株)小糸製作所	(商振)七間町名店街	中島屋ランドホテル	学生服のやまだ
河野法律事務所	司法書士下田代博之事務所	永田部品製造(株)	(株)やまだいち
(株)小山園茶舗	清水エル・エヌ・ジー(株)	ナガハシ印刷(株)	ヤマダユニア(株)
コロナ工業(株)	(株)清水銀行	夏目電気工業(株)	大和タクシー(株)
(株)近藤リース	(株)シャンソン化粧品	日進電機(株)	祥雲
サームヘイト	(株)正悦	日東富士製粉(株)	(株)友成機工
(株)薩川組	(株)シラトリ	日本通運(株) 静岡支店	(株)ユピテル
三興商事(株)	新生自動車販売(株)	日本軽金属(株)清水工場	理研軽金属工業(株)
(株)サンタモンコーポレーション	(株)鈴木塗装工務店	日本平ホテル	菱和設備(株)
(株)三明	鈴与(株)	野村證券(株) 静岡支店	医療法人社団リラ 溝口病院
ホテルアソシア静岡	スター精密(株)	はごろもフーズ(株)	和信化学工業(株)
(株)静岡朝日テレビ	インテリアのシミ	(株)長谷川電機	
稲森パーキング	スルガ銀行(株) 静岡支店	(株)濱村屋	
静岡ガスグループ	(株)駿府楽市	企業組合針谷建築事務所	
(株)静岡銀行	静甲(株)	(株)ピーエーシー	
(一財)静岡経済研究所	(株)清港ドック	オートボックス (株)ヒノデ	



# 令和6年 静岡浅間神社 廿日会祭

祭事・行事予定表		舞 殿	社務所前特設ステージ	脚曳行・神輿渡御
<b>4月1日</b>				
8時30分	廿日会祭初日祭	10時～ 吟剣詩舞奉納 岳南詩吟社	※詳細は特設ステージ参照 10時15分～ 静岡東高等学校応援団部 10時40分～16時00分～ LIVE HOUSE UHU PRESENTS ライブ	※詳細は各ルート図参照
9時30分	岳南詩吟社正式参拝	13時00分～ 清沢神楽奉納 清沢神楽保存会	13時40分～ 僕達はまだ夜しか知らない 14時40分～ 静岡西高等学校音楽部	
10時15分	酒造安全繁栄祈願祭		18時20分～ 言触 LIVE	
10時30分	清沢神楽保存会正式参拝			
11時				
11時10分				
12時30分				
14時				
14時30分				
<b>4月2日</b>				
9時		10時30分～・13時30分～ 木遣・お囃子・地踊奉納 駿府芸能保存会連合会	10時00分～ 静岡商業高等学校応援団部	※詳細は各ルート図参照
10時	商工業安全繁栄祈願祭		10時40分～15時30分～ LIVE HOUSE UHU PRESENTS ライブ	
10時30分	茶業安全繁栄祈願祭		13時00分～ アルファミュージック声優スクールPresents ライブ	
12時00分			17時30分～ 大道芸	
13時	春季神衣祭			
14時				
15時				
16時30分				
17時				
17時30分				本社神輿宮出祭 若駒神輿会主管 本社神輿宮出 若駒神輿会主管 本社神輿宮入 若駒神輿会主管
18時				
20時				
<b>4月3日</b>				
9時	神武天皇遙拝式 演武会正式参拝	9時50分～ 奉納演武会	10時00分～ 常葉学園高等学校ダンス部	※詳細は各ルート図参照
9時30分			10時40分～14時00分～ 静岡市太鼓連盟 太鼓フェスティバル	全 脚清祓式 城内(葵)・安東当番脚 神社発 本部脚 神社発
10時			13時00分～15時00分～ 仮面ライダーガッチャード ショー	伝馬脚 神社発
10時40分	醸造安全繁栄祈願祭 稚児行列		16時15分～ 大道芸	城内(葵)・安東当番脚 神社着
11時	稚児無事成長祈願祭			伝馬脚 伝馬公園着 本部脚 神社着
12時				
13時				
14時				
15時				
16時	昇祭			浅間神輿宮出祭 浅間神輿会主管 浅間神輿宮出 浅間神輿会主管 浅間神輿宮入 浅間神輿会主管
17時30分				
18時				
20時				
<b>4月4日</b>				
9時		10時00分～ 横沢神楽奉納 横沢神楽保存会	10時00分～17時15分～ LIVE HOUSE UHU PRESENTS ライブ	
9時30分	横沢神楽保存会正式参拝		11時00分～15時00分～16時00分～ 奉納舞踊 若農会・寿弥の会・大河流	
10時			12時30分～ 勝手にサザン NIGIT!	
11時	※3日雨天時 稚児行列	13時30分～ 謡曲奉納 静岡市能楽連盟	14時00分～ 緒形 リア	
12時	※3日雨天時 稚児無事成長祈願祭			
13時	静岡市能楽連盟正式参拝			
16時	降祭			
<b>4月5日</b>				
9時	稚児 建徳神社奉告参拝		10時00分～ LIVE HOUSE UHU PRESENTS ライブ	※詳細は各ルート図参照
10時	稚児 別雷神社奉告参拝		12時30分～ スンプレンジャー LIVE	城内(葵)・安東当番脚 神社発 本部脚 神社発 伝馬脚 伝馬公園発 古式稚児行列 全脚 全脚 神社着 神社前脚勢ぞろい(曳き揃え) 稚児供寛
11時	古式稚児行列			
12時5分	脚曳き揃え 稚児供寛			
12時15分	神部神社・浅間神社例祭			
13時	大歳御祖神社例祭			
14時	国指定重要無形民俗文化財 静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽			
15時				
<b>4月6日</b>				
9時	廿日会祭後日祭			城内(葵)・安東当番脚 神社発 本部脚 神社発 伝馬脚 伝馬公園発 市役所前脚勢ぞろい(曳き揃え) 伝馬脚 神社着 城内(葵)・安東当番脚 神社着 本部脚 神社着
9時30分				
14時30分				
16時30分				
17時30分				
<b>4月1日～4月5日</b>				
献花展示	大歳御祖神社拜殿・社務所 華道各流派	4月1日～4月22日 麓山神社献灯 麓山神社参道 静岡木材業協同組合・静岡市森林組合	4月1日 9時～17時 安倍の市 静岡浅間神社・浅間通りにて開催 静岡浅間通り商店街振興組合 主催	4月2日～4月7日 9時～17時 さくらマルシェ 開催 静岡浅間神社 主催
<b>4月6日</b>				
15:30～15:40	大御所役 ISSA(DA PUMP)さん 大歳御祖神社拜殿 大御所公参拝			
<b>芸能披露団体</b>				
静岡木遣保存会 東嘉會	府中青葉木遣會	静岡浅間神社祭礼囃子保存会 静岡勇會	静岡若駒會 小若連	
新門木遣保存会 北辰會	伝馬脚振興会 伝馬木遣會	静岡浅間神社祭礼囃子保存会 静岡勇會 葵会	伝馬脚振興会 お囃子会	
静岡浅間木遣保存会	木遣明木会	静岡若駒會	静岡浅間神社敬神婦人会 流派問わず	

※天候等状況により予定を変更または中止する場合があります

## ご挨拶



460年以上も連綿と受け継がれてまいりました廿日会祭が、桜花爛漫の中斎行されます。

本年は各地域に長年伝えられてきた神楽や木遣やお囃子、また太鼓・舞踊の奉納、ミュージックライブや大道芸などの芸能行事を企画し、神人和楽のもと奉祝の真心を捧げたく思っております。

令和4年3月23日に「静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞楽」が国指定重要無形民俗文化財に登録されました。今後、静岡市協力のもと、静岡県そして全都道府県にまで徳川家康公が愛した静岡浅間神社の廿日会祭を知っていただけるよう、そして次代へと受け継がれていくよう、今後も邁進してまいります。たくさんの皆様方のお越しをお待ちしております。

廿日会祭協賛会 会長 渡邊 朗



境内に咲き誇る桜の素晴らしい景色の中、本年も市民総ぐるみの参加により廿日会祭が盛大に開催されます事、心よりお祝い申し上げます。

駿府脚振興会として1年に1度、最も活躍できるこの廿日会祭に合わせ皆で力を合わせ頑張ってきました。

山車は、4月3日(水)・5日(金)・6日(土)に城内(葵)脚1台・安東脚1台の当番脚を主体とし、本部脚2台、本部伝馬脚1台の計5台が市内を曳行いたします。

神輿は、4月2日(火)若駒神輿會主管で本社神輿渡御・3日(水)浅間神輿會主管で燈籠神輿(浅間みかげ燈籠)渡御が行われます。

静岡浅間神社大神様の御神徳と御加護を受け、静岡市益々の発展と地域活性化を願い、お脚の昔を引き継ぎ、未来に繋いでいけるよう意見を出し合い検討し、今後も賑々しく開催されますことを祈念致します。

駿府脚振興会 会長 原田 正男

静岡浅間神社

かんべ  
神部神社  
あさま  
浅間神社  
おとしみおや  
大歳御祖神社

神部神社は第十代崇神天皇の御宇の鎮座とされ、この地方では最も古い神社であり、延喜式内社であり、駿河の国魂の神として大己貴命をお祀りしております。平安時代以降国衙が置かれ国司崇敬の神社また総社として祭祀が行われました。浅間神社は平安時代延喜元年醍醐天皇の勅願によって、現在の富士山本宮浅間大社よりご分霊を御遷ししてお祀りされました。

この二社は隣同士にお祀りされております。それはこの二社が国司の尊崇と密接に絡んでおり、総社の一宮である浅間大神を一緒に祀りすることによって、国内の安寧を祈願したものと考えられます。

大歳御祖神社は第十五代応神天皇四年の鎮座と伝えられ、延喜式内社です。もとは社名を奈吾屋社と称し、安倍の市の守護神(農業・漁業・工業・商業等)諸産業の繁栄守護の神としてお祀りされ、信仰されてきました。この安倍の市とは、この地域にあった古代の市のことです。万葉集の中に、春日蔵首老の歌「焼津辺にわが行きしかば駿河なる阿倍の市道に逢ひ見らばも(焼津付近にきたところ、安倍の市に向かう道で逢った若い女性を思い出した情景を詠ったもの)とあり、安倍の市が詠まれています。神社前の西草深公園には、かつて安倍の市が青葉通りあたりにあったと伝える石碑が建てられています。現在は、神社境内にて復活した「安倍の市」が静岡浅間通り商店街振興組合主催により毎月一日(お朝日参り)に、賑やかに開催されております。

境内には、麓山神社・八千支神社・少彦名神社・玉鉾神社の四社があり、七社すべて合わせて静岡浅間神社と称します。

廿日会祭

静岡浅間神社の例祭は廿日会祭といって、毎年四月一日より五日まで桜花爛漫の中、各種神賑行事とともに繰り広げられます。中でも五日の例祭には徳川家康公ゆかりの「稚児舞楽」を奏すること知られ、市中には山車屋台が繰り出し、祭期間中約四十万人の人出で賑わいます。

廿日会祭は、旧暦二月二十日に行われていた「稚児舞楽」が起源で、江戸時代まで神仏両部で祭事が営まれておりましたが、明治の神仏分離により一時廃絶しました。時を経て明治二十七年に復活し、廿日会祭と名称が変更され、祭日も新暦の四月一日〜五日と改められました。

国指定重要無形民俗文化財 『静岡浅間神社廿日会祭の 稚児舞楽』

四月五日例祭斎行後、午後三時より舞殿にて、愛らしくそして優雅な舞が奉納されます。

戦国時代に入り、稚児舞楽は一時衰退しましたが、大御所として入府した徳川家康公は、ただちに建徳寺から稚児舞楽の奉納を復活させました。当時の舞は延鉾・萬歳楽・延喜楽・還城楽・納曾利・太平楽・安摩(二の舞)で、残念ながら萬歳楽・延喜楽はその後廃絶してしまいました。慶長年間家康公上覧の折、舞楽衣裳をはじめ楽器などが下賜され、それ以降稚児は幕臣の子弟から選ばれるようになりました。古くは大稚児・小稚児の区別があり、大稚児は十二歳または十三歳、小稚児は十一歳または十二歳の男児がそれぞれ二名ずつ選定され、大稚児は山吹、小稚児は桜の花を天冠に挿し、額に星の位を表すという月形の印を胡粉にて付けました。舞が終了すると「花納めの儀」と称して、天冠にかざした山吹と桜は、早飛脚にて巴川にかかる稚児橋まで運ばれて他の飛脚に渡され、江戸城内へ納められ、舞が終了したことを報告したと伝えられています。今は大稚児・小稚児の区別はありませんが、小学生から四人選ばれ、額には月型の印を付け、山吹と桜を天冠にかざし、天下泰平・五穀豊稔を願って五段の舞を舞います。

稚児舞楽のはじまり

稚児舞楽に関する最古の記録は、戦国時代の公家山科言継の日記「言継卿記」が有名です。

言継は弘治二年九月義理の叔母にあたる寿桂尼(今川義元生母)の許を訪ね、翌三年三月までの半年間駿府に滞在したことが記されています。弘治三年二月十八日には同じ公家の中御門宣綱とともに建徳寺を訪れ稚児の舞を見学、二十二日には浅間神社において寿桂尼より酒肴を賜り、雨で二日遅延となった稚児の舞を鑑賞したとあります。雨で遅延とは稚児一行が安倍川を渡れなかったため、すでに四百五十年以上前には建徳寺から浅間神社に稚児の舞を奉納していたことが記されています。いづれから両社寺に稚児の舞が演じられてきたのかを示す資料はありませんが、建徳寺の稚児舞が大坂四天王寺より伝わったとの伝承があり、六世紀後半以降に秦河勝の子孫が四天王寺舞楽に携わったとされ、河勝次男の子、秦久能が久能寺(現鉄舟寺)を建立したとの伝承も残されており、この久能寺からは菩薩舞を浅間神社に奉納する例がありました。また建徳寺も秦氏の氏寺として白鳳十三年に建立されたこととえられていること、さらに秦氏の氏神として機織の神を賤機山に奉祀したことなどを考慮すると、稚児舞楽の起源は建徳寺草創期に遡る可能性も推察されます。

稚児舞楽の演目

振鉾(えんぶ)

舞を始めるにあたり、鉾を手に持ち、天下泰平を祈って四方を清める舞で、呪術的要素の強い舞です。

楽は「乱声」と呼ばれる曲で、組曲形式となっております。

納曾利(なそり)

通常は二人で舞うもので、雌雄の龍が遊樂するさまを模して作られたと伝えられ「双龍舞」とも言われています。一人で舞うときは「落舞」といい、当神社ではこの「落舞」で舞われます。この舞には面がありませんが童舞のときは面を付けないこととなっております。

本年度稚児

二人の稚児が笏を手に持ち優雅に舞っている

と、笑顔と腫面を付けた命と婆が登場し、稚児を真似て滑稽に舞い始めます(二の舞)。太鼓の拍子も軽快になり、その拍子から「すじゃんこ舞」ともいわれ、爺と婆の滑稽な舞を見て稚児が笑うその年は不作になるといわれています。

還城楽(げんじょうらく)

蛇を好んで食べるという中国の西城の人が、蛇を見つけて歓喜するさまを舞にしたと伝えられ、見蛇楽とも還京楽ともいわれています。本来は面をつけて舞いますが、童舞のときは面を付けません。当神社の舞でも稚児が蛇を求め、舞殿中央の蛇を見つけて喜ぶような所作で舞います。

太平楽(たいへいらく)

漢の高祖が楚の項羽と酒宴を催した席上で、項羽と項伯の二人の武将が剣舞を披露した故事を模した舞です。宮中では即位の大典などの特別な時に舞われます。当神社の舞でも二人の稚児が太刀や鉾を持ち、勇壮に舞います。

- 平尾 優斗 5年生
- 小倉 橙也 4年生
- 佐藤 直太 4年生
- 松岡 准平 3年生
- 静大付属小 5年生
- 葵小 4年生
- 葵小 4年生
- 葵小 3年生

特設ステージ

規制図

1 歩行者専用道路 麻機街道 4/5 11:30~15:00

2 一方通行解除 4/5 11:30~15:00

1 歩行者専用道路 一方通行解除部分

※天候・状況により変更になる場合があります。

1日 10:40 / 16:00

2日 10:40 / 15:30

4日 10:00 / 17:15

5日 10:00

LIVE HOUSE UHU PRESENTS ライブ



1日 10:15 静岡東高等学校 応援団

1日 13:40 僕達はまだ夜しか知らない



1日 14:40 静岡西高等学校 音楽部

1日 18:20 言触(ことぶれ) LIVE



SBSフェスティバル

3日 10:00 常葉学園高等学校ダンス部

3日 13:00 / 15:00 仮面ガッチャード 観覧無料

場所/社務所前特設ステージ

©2023 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

3日 10:40 / 14:00 静岡市太鼓連盟太鼓フェスティバル

- 川原太鼓保存会
- 東豊太鼓
- 常葉大学附属橋中学校高等学校太鼓部
- 静岡女子高等学校和太鼓部
- 安倍学園 北龍太鼓

2日 13:00 アルファミュージック声優スクール Presentsライブ

ミュージックスクール 声優スクール

ALPHA MUSIC VOICE SCHOOL

SILENT HILL RECORDS

ZiLL (司会)

2日 17:30 / 3日 16:15 大道芸人 大集合

浅間通り・神社境内でも披露!!

4日 11:00 若豊会 15:00 寿弥の会 16:00 大河流

奉納舞踊

2日 10:00 静岡商業高等学校 応援団

勝手にサザン NIGHT!

4日 12:30 katteni SAS NIGHT

4日 14:00 緒形リア

5日 12:30 スンプレンジャー LIVE

舞殿奉納行事 3日

9:50	つぐら神事	浅間弓道会場
10:05	琉球古武術	唯心会
10:20	居合道・古武術	力信流
10:35	空手道	日本空手協会 静岡城東支部・篤誠館
10:50	空手道	日本空手協会 静岡城西支部
11:05	空手道	日本空手協会 橋原支部
11:20	空手道	龍上武道クラブ
11:35	剣道	末広中学校 剣道部
11:50	なぎなた	全日本なぎなたの形 静岡市なぎなた連盟
12:05	居合道・古武術	水鷗流
居合道・古武術	伯耆流	
居合道・古武術	無双直伝英信流・静岡八重垣会	
居合道・古武術	無想神伝流	
杖術・古武術	神道夢想流杖術	
剣術・短杖術	神道流剣術・内田流短杖術	
鎖鎌術・十手術	一心流鎖鎌術・一角流十手術	
剣術・居合術・棒術・薙刀術	天真正伝香取神道流	
居合術・古武術	無限神刀流居合術	
柔術	日本武芸司護身道八光流 草薙道場	
14:00	合気道	静岡大学 合気道部
14:15	合気道	日本光輪会 清水道場
14:30	合気道	静岡市合気道連盟



神輿渡御



古式稚児行列

※大きなルート図は駿府脚振興会ホームページを参照して下さい。



曳行ルート

桜咲く春の訪れとともに、南西より春の風に乗れ、聞こえてきたお囃子の音色と木遣りの声、そのような風景の中に、この度安東地区自治会連合会が当番脚として参加することは、多くの先人たちが望んでいたとはいえなかなか叶わず、今年ついに現実のものとなりました。初めての参加に、紆余曲折しながら脚や他地域の皆様のご指導、激励を頂き安東地区内でも会合を重ねてまいりました。山車を曳くからには賑々しく地域の皆様に喜んでいただくことも、静岡浅間神社廿日会祭の発展の一翼を担う当番脚と致したく頑張っております。是非とも城内(葵)と安東で当番脚曳行の際には、大きな声援と拍手を宜しくお願い致します。そして数年後には安東脚が独り立ちして開催できます事、また神社の弥栄と廿日会祭の盛況を祈念し、ご挨拶と致します。



安東地区自治会連合会 会長代理 竹下 唯司

静岡浅間神社の廿日会祭開催にあたり、皆様からの暖かいご支援を頂き、誠に有難うございます。桜満開の中、当番脚初の組み合わせとなる城内地区(葵)と安東地区合わせて8,500世帯が一丸となって脚を曳行できる事、この上ない喜びであります。今年は、大人も子供も一緒になって大いに笑って楽しんで参加していただけるお脚を目指し、頑張っております。今後の神社益々の発展と皆様方の家内安全・除災招福・身体健全を祈願し、当番脚元気良く、市中をねり歩きます。8年ぶりの城内(葵)当番脚の熱意を感じていただき、温かいご声援を頂きたく、何卒宜しくお願い致します。静岡の伝統芸能であります木遣り・お囃子・地踊りを皆様是非お楽しみ下さい。



城内地区自治会連合会 会長 大石 三男

城内(葵)・安東当番脚



本部脚



本部伝馬脚



現存山車

神武車(じんむぐるま)  
山車人形/神武天皇  
形式/江戸型山車  
建造年代/明治十九年  
旧所有/宮ヶ崎町



稲荷車(いなりぐるま)  
山車人形/稲荷明神  
形式/江戸型山車  
建造年代/大正時代  
旧所有/不明



木花車(このはなぐるま)  
山車人形/木花咲耶姫命  
形式/江戸型山車  
建造年代/大正十四年  
旧所有/上石町



暫車(しばらくぐるま)  
山車人形/鎌倉権五郎景政  
形式/江戸型山車  
建造年代/大正十四年  
旧所有/上石町



咲耶車(さくやぐるま)  
山車人形/木花咲耶姫命  
形式/江戸型山車  
建造年代/平成八年



静岡浅間神社廿日会祭と山車・神輿

山車とは、杉を立てて神を招く目印「いだし」を語源とするといわれ、杉のほか松や針人形などを据えて車輪を備え装飾を施すとともに、神楽の代わりとして囃子を奏で、市中を曳行して安寧を願うものである。山車の起源は京都祇園祭の山鉾にあるとされ、全国各地に様々な形態を見るに至りました。駿府の山車は江戸より伝わった江戸型山車であり、一本柱に据えられた人形は神の依代であったり神体でもあります。神体を乗せた山車は社殿とも言え、神聖なものであります。市内を曳行し町内安全家内安全を願うために曳き出すとも言われ、綱を曳けば厄除、面踊りを見れば魔除の意味があり、神人乗の頭現とも言えるのです。廿日会祭で曳かれる山車は「おねり」と呼ばれています。この「おねり」には「脚」の字を充てるのが静岡浅間神社祭礼の特徴です。

江戸時代の元和年間より始まったと伝えられるお脚は、始めは仮装行列のような形態を取りましたが、その後は花笠車、作り物を施した底抜け屋台、鈴、一本柱万燈型山車など趣向をこらした曳き物、昇き物へと移り、現在のような江戸型山車へと変遷したものです。天保十三年より駿府九十六ヶ町を東西南北の四組に分け、一組ずつ年番として本脚を曳き、その他の町内からは役脚を曳き出すこととなりました。当番町の家々では軒に献灯提灯を飾り幕を張って装飾しました。当番町の脚の行程は、廿日会祭の五日前には近隣町や年行事の町内を巡り、四日前には町奉行邸宅前にて余興を行い、二日前には城郭堀端を巡って城代および、二、三加番の観覧に供したと伝えられています。

廿日会当日各脚は早朝より安西川原安西五丁目集結し、町奉行よりは与力・同心を脚掛(おねり)がかりとして警固に当たりました。稚児が安倍川を渡ると川原では余興によって稚児を慰労し、行列を組んで静岡浅間神社へ向かいました。稚児到着の後は各脚は長谷村を通り、草深門外に出て、横内町外堀通り、城代城番三加番の町外を経て、四ツ足門外に至り、そこで曳き別れとなり各町内へ戻りました。

明治元年、神仏分離により建徳寺が廃寺となり、廿日会並びに稚児舞楽振鈴以外は行われなくなり、祭日も四月一日より五日までとし、維新以来途絶えていた稚児舞楽と町衆による脚行事が復活しました。一時は江戸時代でも凄く盛況大になったお脚は戦争や大火などで山車のほとんどが焼失

※静岡浅間神社前

四月五日(金)午後十二時十五分頃

各山車があつまり、本年は別雷神社を出発し、約二キロの道のりを、稚児の乗る輿を中心に山車屋台を従えて、総勢千数百人にも及ぶ大行列となつて静岡浅間神社まで参ります。神社に到着すると稚児の前で木遣り・お囃子面踊り・婦人連小若衆による地踊りが披露されます。

※市役所前

四月六日(土)午後二時半頃

街中を曳行した各山車が静岡市役所前にあつまり、賑々しく、木遣り・お囃子面踊り・婦人連小若衆による地踊りが披露されます。

詳細は駿府脚振興会ホームページへ。  
<http://o-neri.jp/>

古式稚児行列

古式稚児行列とは、稚児舞楽を奉仕する四人の稚児の行列のことです。当神社の例祭であります廿日会祭の中心行事となります。

およそ四百年前、徳川家康が静岡市建徳にあった建徳寺(明治時代に廃寺で舞われていた稚児の舞を、静岡浅間神社の旧暦二月二十日のお会式にも奉納された)が起源です。

その後、大御所公奉納の稚児舞としてお会式の呼び物となり、建徳の村から浅間神社へ向かう稚児の行列は、万石の格式が与えられ、町衆による脚と呼ばれる山車屋台が繰り出し、海道一の大祭とも言われました。

現在の行列は、毎年四月五日早朝稚児一行はまず古儀にならつて建徳神社に参拝し、その後、市内中心部の小松神社と別雷神社から毎年交互に出発し、稚児の乗る輿の後ろに、当番脚(当番町・駿府本部脚・本部伝馬脚)が山車を曳いて歩き、神社に到着すると稚児の前で木遣り・お囃子面踊り・地踊りなどの練物が披露され、廿日会祭の一番大切な行事であります例大祭(稚児舞楽)が奉納されます。